

## 入選

### 親切が印象を変えてくれた

長野県 女鳥羽中学校 三年

田上 玄人

小学校4年生のとき、父の仕事の関係で私は中国にいました。そんなある日、祖母とおばが会いに来てくれました。実を言うと、二人は中国にあまり良い印象を持っておらず、そこに転勤することになったので、心配していたそうです。なので、空港で会ったとき、喜んではいましたが少し不安な様子でした。

その後、地下鉄で移動し、地上に上がろうとすると、エスカレーターやエレベーターが無いことに気がつきました。階段を使おうとしましたが、二人は重いスーツケースなど、たくさんの荷物を持っていました。しかも、この階段はかなり長いのです。

どうしようと困っていると、3人の職員が駆けつけてきてくれました。若い男性でしたが、スーツケースを抱えながら上がるのは、かなり大変そうでした。それでも、嫌な顔をせず長い階段を運んでくれました。ちなみに、後日この階段を使った母も、「こんなに長かったのか！」と驚くほど長かったです。

運びきった後、「本当に助かりました」と感謝を伝えました。職員は、「それなら良かったです」という感じで、笑顔でした。私は、単純に職員たちが格好良いと思いました。

このできごとで、二人も驚きつつ笑顔になっていました。中国への偏見がなくなり、好感を持ったからか、その後も二人はかなり楽しんでいるように見えました。

そして、この旅行が祖母にとって、最後の海外になりました。祖母は昨年、亡くなったのです。最後の旅行で、「小さな親切」に出会い、海外旅行を楽しめて良かった、と今は思います。

笑顔で荷物を運んでくれた職員には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。言葉がわからなくても、誰かが困っていればすぐに助けに来てくれる、そういう小さな親切がたくさん増えれば、みんなが笑顔になれる、と思いました。

そうすれば、偏見も無くなり、差別も無くなると思いました。さらには、争いも無くなるかもしれません。まずは自分がそういう人間になりますが、他の人にも中国での小さな親切を知ってもらうために広めていきたいです。

親切で、印象は大きく変わることを実感しました。